



題字  
宮城県知事山本壮一郎

発行所  
仙台市上杉一丁目2番16号

宮城県畜産会

電話(62-9180)

編集発行人 大石武一

定価 1部50円

印刷所 KK東北プリント



水田利用再編対策事業による転換畑  
(岩出山地区) 撮影：岩出山町農業生産組合

もくじ

最近ほおける本県の畜産動向について…… 2

肉牛生産振興地域制度の整備強化について…… 3

自給飼料生産向上特別対策事業(特対事業)…… 4

—実施要綱等制定される—

畜産経営環境保全対策事業の概要…… 7

カンクーラーとバルククーラーによる生乳汚染…… 8

昭和53年度畜産会事業計画の概要…… 10

角田市の柳田さん“日本一賞”を受賞…… 10

畜産団体紹介(20)…… 11

畜産物の市況…… 11

催しものご案内…… 12

## 最近における本県の畜産動向について

宮城県畜産課

最近における畜産は、畜産物消費が伸び悩む中にあって、配合飼料の値下がありや、畜産物価格が比較的安定したことにより、水田利用再編対策の推進に伴なって、畜産にかける期待が大きくなっているなどの要因から生産拡大の意欲が高まり、飼養戸数の減少度合いが鈍るとともに、飼養頭数は前年に引続いて増加しており、比較的落ちついた動向を示している。しかしながら消費の動きは依然として鈍く、畜産物輸入拡大問題とも関連して先行き需給のギャップが懸念されるところである。

本県の家畜別動向について、本年2月1日現在の農林水産統計速報からみると次のような情勢である。

### 1. 酪農

酪農経営は乳価の安定に支えられて、50年を底に安定的に伸びているが飼養戸数は依然として少規模層の脱落が続き前年より、93.1%の6,710戸に減少した。

一方、飼養頭数は、47,400頭と107.4%の伸びを示しており、畜産危機以前の状態に恢復している。1戸当り飼養規模も6.1頭から7.1頭に増えているが、全国平均の15.3頭からみると、まだまだ規模拡大は、おくれている。飼養規模別戸数をみると成畜1~4頭規模階層の減少に対し、10~20頭飼養の中規模階層が増加しており、それ以上の階層では伸び悩み傾向となっている。

以上の動向を反映して52年の生乳生産は、乳牛能力の向上とあいまって、対前年112%の伸びとなっているが、全国的動向でもあって、生乳需給関係は大きく緩和されており、今後の消費拡大は一層緊要課題となってきている。

### 2. 肉用牛

牛肉卸売価格は昨年安定的に推移したことと、肉用牛振興のための諸対策がとられたこともあって、順調に増加しつつあり、一貫して減少を続けていた飼養戸数も、

前年より3%減の21,000戸と漸く下げ止まりの傾向となっている。飼養頭数は103.3%の70,900頭と過去最高の頭数となったが、1戸当り頭数は8.4頭と微増で依然として零細規模が中心となっており、他の家畜よりも規模拡大は極めて遅い。頭数の増加は肥育牛に負うところが多いが、飼養規模別戸数では1~4頭飼養層が減少し、5頭以上層が増えているが、特に肥育牛中心の80頭から100頭以上層の伸びが目立っている。

又飼養頭数に占める乳用種の割合も22,800頭で82.2%と前年より増加しているが、最近における乳用種供給の増大、牛肉輸入問題等の影響で卸売価格は弱含みの傾向にあり、生産農家は先行き不安感をもっている。

### 3. 養豚

養豚経営は、環境汚染問題等生産環境がきびしくなっており、養豚経営立地は制約されることが多いが飼養戸数は前年より3%程度の減少にとどまり、10,500戸となっている。飼養頭数は105.7%の283,800頭に増加し、1戸当り頭数は2頭多い27.1頭になった。

今後とも平坦地帯を中心に複合経営として定着拡大の方に向かっており、当分増加基調で推移するものとみられるが、肉豚の価格変動によっては増減を繰返すことも予想される。飼養頭数中、子取めず豚も前年比104%の42,700頭に増え全頭数の15%を占めているが、一貫経営の進展によって更に増加するものとみられるので、本年の子豚生産頭数は78万頭前後に増えるものと予測される。又飼養戸数の半分は肥育豚飼養となっているが、その規模別戸数をみると100頭以上の飼養戸数は前年と殆んど変わっていないが、100頭以下の階層では1~10頭までの戸数が25%減少しているのに対し、10~100頭までの戸数は前年比133%と増加が目立っている。

### 4. 採卵鶏

長期に亘る卵価低迷から更に本年1月以降価格の低落が続いているが、飼養戸数は引き続き少羽数飼養中心に減少し前年より2,800戸減の16,800戸となっている。

特に5000羽未満の飼養戸数では前年より15%減少している。これに対し飼養羽数は生産調整下にもかかわらず一部企業養鶏の増羽があったために前年対比で飼養羽数で120%、成鶏めす羽数で131%と大幅に増加し、全羽数で4,261千羽、成鶏めす羽数が2,939千羽となっ

**飼 料 は みのり**

採卵鶏用配合飼料  
プロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料  
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号  
TEL石巻 02252(5)4171~4

**畜産公害を追放する**

家畜糞尿処理工事  
さく井工事 畜舎工事  
ポンプ工事 設計・施工  
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地  
電話 (0222) 932461

ている。全国的にも増加傾向がみられるものの、本県の場合は特に著しく、現在の鶏卵需給事情からみて今後更に一層増殖抑制指導の強化が必要となっている。

### 5. プロイラー

プロイラーは全国的に増加しており、供給過剰基調となっているため、大巾な価格低落が続いている。本県においても大規模飼養者の規模拡大が目立っており、前年対比で125.5%と全国でも有数の伸び率で、1,912千羽に増加した。又52年における出荷羽数は8,500千羽となっているので、本年は10,000千羽台の出荷羽数になるものと予測される。飼養戸数は商系インテグレーションによる新規契約もあって前年より15戸増えて147戸となつておる、1戸当たり18千羽に拡大され大型化が一層強まっている。しかしながら今後の需給動向をみながら、計画生産を更に進めなければならない情勢下になっている。

## 肉用牛生産振興地域制度 の整備強化について

宮城県畜産課

肉用牛生産振興地域制度については、昭和47年6月に農林省畜産局長通達が出され、県は、「宮城県肉用牛生産振興方針」を策定したが、この県の振興方針に基づき「市町村肉用牛生産振興計画」を樹立し地域指定申請のあった県下51市町村を肉用牛生産振興地域として知事が指定を行い、肉用牛生産振興諸施策を重点的に実施運用してきたところである。

最近における牛肉需要の増大並びに需要動向に即応した牛肉の安定的供給と生産性の高い肉牛経営の育成を図るために、この肉用牛生産振興地域制度を更に強力に推進することが必要であり、特に乳用雄牛の牛肉資源としての急速な進展に伴い安定供給を図るうえでの肥育経営の重要性が高まっており、このような情勢の下に、これまで肉専用種繁殖育成経営の強化に主眼を置いて推進してきた本制度について、乳用雄牛肥育経営が牛肉生産

の担い手としての明確な位置付けを行うとともに肉用牛肥育経営全般に亘りその強化を図る観点から今回「肉用牛生産振興地域の再編整備通達」が一部改正されることとなった。

### 1. 改正の要点

#### 1) 指定基準

- ① 繁殖生産を主目的とする肉用メス牛がおおむね200頭以上飼養される地域。
- ② 肉用メス牛がおおむね200頭以上飼養する計画を有する地域であって、当該地域内における森林原野の面積割合が40%以上ある地域。
- ③ 肉用牛がおおむね500頭以上飼養されている地域。
- ④ 肉用牛がおおむね500頭以上飼養する計画を有する地域であって、畜産経営に起因する環境汚染等の公害が防止されることが確実と見込まれる地域。

①～④の何れかに該当する地域であること。

#### 2) 指定地域の変更

市町村長及び知事は、地域指定に係る区域における肉用牛経営をめぐる情勢の推移等により必要が生じたときは、当該区域を変更し、又は、その指定を解除するものとする。

#### 3) 肉用牛生産振興方針の変更

知事及び市町村長は肉用牛経営をめぐる情勢の推移等により必要が生じたときは、肉用牛生産振興方針を変更するものとする。

### 2. 推進計画

- 1) 県の肉用牛生産振興方針は、農林省の指示により昭和53年9月以降策定することとする。
- 2) 市町村の指定地域の変更は、昭和53年9月から12月まで行うこととする。
- 3) 市町村肉用牛生産振興計画は、県の振興方針策定後県の方針に基づいて樹立することとなるが、新規指定市町村については、昭和54年3月まで終了することとする。

### 3. 昭和53年度の特例

53年度において実施する畜産関係補助事業で、肉用牛生産振興地域を事業実施地域の要件としているもの

<p>飼い上手 育て上手は…… みのたに……で 動物薬品・獣医器具総代理店 株式会社 美濃谷</p> <p>本 店 山形市藏王成沢字町浦491~2 TEL 093121 山形店 仙 台 店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL 0954306 鶴 岡 店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL 0190963 いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL 0246440300</p>	<p>こくておいしい大型びん…</p> <p><b>森永</b> <b>ハイカラウニ牛乳</b></p> <p>宮酪乳業株式会社</p>
---	--



農業経営又は農作業の委託を受けた農協から農業の再委託を受けた農業者。オ)農政局長が適切と認めるもの。

## 6. 事業実施期間

原則として1地区3ヶ年(2~4ヶ年)

## (別表) 特対事業の内容

事業種目	事業内容	事業の規模等
1. 飼料基盤集積対策事業		
1) 耕作放棄地等利用促進事業	農協等が耕作放棄地、原野、山林、(可食下草があること)を飼料基盤として利用するため利用関係のあつせんをした面積10a当たり2,500円補助。	対象面積10a以上、1a未満は切捨て
2) 放牧林地等利用契約促進事業	畜産農家が放牧林地、原野を飼料基盤として利用するため5ヶ年間の賃貸借契約により賃借料5ヶ年分を一括前払いした場合1ha当たり2,000円補助。	対象面積5ha以上、1ha未満切捨て
2. 生産基盤等整備事業		
1) 飼料基盤整備事業		
(1) 転換水田等整備事業	排水、ふん尿かんがい施設の整備。農道の新設、改良、補修。深耕、整地、区画整理、土壤改良と併せ高収量牧草の導入。施設用地の造成。	受益面積1ha以上。対象となる水田は転作に係るもの。農道は転換水田に係るもの。また転作水田整備事業と併せ行う。1), ウ)についてもそれぞれに係るもの。深耕は耕盤・心土破碎を指す。整地は畦畔の廃止、修正及び雑かん木除去を含む。区画整理に必要な排水、ふん尿かんがい施設の整備、農道新設、改良補修、土壤改良等を含む。高収量牧草は永年牧草地として利用してゆくものを指す。
(イ) 牧草地整備事業	排根線、障害物等の除去、起伏修正、区画整理、客土、排水、心土破碎、暗渠排水整備等と併せ土壤改良及び高収量牧草導入。	受益面積5ha以上、造成播種後5年以上経過したもの。ただし転換水田整備を併せ行う場合は1ha以上。牧草は永年牧草。草地開発事業の整備改良に準ずる。
(ウ) 既耕地整備事業	上記以外の既耕地の整備、内容はイ)と同じ。	受益面積1ha以上10ha未満。ただし、以下イ)と同じ。飼料作物の栽培を目的。
(2) 飼料畠、牧草地造成事業	障害物の除去、起土整地、土壤改良資材及び高収量牧草導入。	造成面積1ha以上10ha未満。 1団地10a以上。高収量牧草は永年牧草。

牧場用柵には  
強くて美しくスマートな  
**東伸製鋼牧柵を!**

製造元 東伸製鋼株仙台営業所  
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 027053  
販売元 塚本商事機械㈱東北出張所  
仙台市花京院二丁目1 TEL 027771  
代理店 本山振興株式会社  
仙台市昭和町6番10号 TEL 0246221

システム農業をクリエイトする  
**STAR**

タフで働きものの  
Mr 3000にチビの  
Mr 2000が新登場



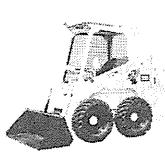
THB 2000

**スター農機株式会社**

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内  
0222-58-7301

事業種目	事業内容	事業の規模等
(3) 農道等整備事業	農道等の新設及び改良。(橋梁の架設を含む)	受益面積は5ha以上20ha未満(1路線), 牧草地整備, 既耕地整備, 飼料畑・牧草地造成, 生産利用合理化事業(特認除く)と併せ行う場合で延長制限はないが, 公共事業採択可能なものは除外。改良とは拡幅, こう配, カーブの修正をいう。舗装は改良と併せ行う場合のみ。
(4) ふん尿かんがい施設整備事業	ふん尿かんがい施設の整備	受益面積は5ha以上30ha未満。牧草地整備, 既耕地整備, 飼料畑・牧草地造成事業を併せ行う場合。
(5) 特認事業	事業種目に準ずるもので農政局長が認めたもの。 当面は次に示す範囲。 ○隔障物の設置 ○家畜飼養施設の設置	受益面積5ha以上。 転換水田整備面積5ha以上。
3. 生産利用合理化事業 1) 生産利用合理化促進事業	飼料作物及び飼料用穀物の栽培, 管理, 収穫, 運搬, 調製, 貯蔵に必要な機械施設の整備及び施設用地の造成。(農機具格納庫等附帯施設含む)	飼料作物作付面積20ha以上(小規模特定地では10ha以上), 飼料用穀物作付面積10ha以上(小規模特定地では5ha以上) 一括的に管理運営する場合には既導入機械の格納面積も対象となる。
2) 流通合理化施設設置事業	流通粗飼料の栽培, 管理, 収穫, 運搬, 調製, 貯蔵に必要な機械施設の整備及び施設用地の造成。	施設に対応する飼料作物作付面積は次のとおり。 キュー型 50ha以上 サイロ型 20ha以上 梱包型 20ha以上
3) 未利用資源利用促進事業	稲わら等未利用資源の採取, 集荷加工調製及び貯蔵のための機械施設の整備及び施設用地の造成。	施設に対応する集荷面積は次のとおり。 キュー型 50ha以上 サイロ型 20ha以上 梱包型 20ha以上
4) 特認事業	事業種目に準ずるもので農政局長が認めたもの。	転換水田整備, 牧草地整備, 既耕地整備, 飼料畑・牧草地造成に附帯するもの。 例 畜舎, 堆肥舎(共同利用に係るもの)

(草地飼料係)

<p>定期的な家畜ふん尿処理用 めづまりのない <b>多板式固液分離機</b></p> <p>●生ふん脱水の決定版 ●公害防止に貢献 ●省力化に威力</p> <p>株式会社 五十嵐商会 仙台市中央三丁目5番14号</p>	<p><b>TCM東洋アチャトローネ</b></p>  <p>糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。 畜産農家の近代化に 作業の省力化に大きく貢献します。 豊富なアタッチメント。</p> <p><b>TCM東洋運搬機株式会社</b> <b>東北ティー・シー・エム株式会社</b> 983 仙台市日の出町3丁目9-35 電話 0222-95-5517-5511</p>
--	--

## 畜産経営環境保全対策事業 の概要

宮城県畜産課

### 1. 目的

地域の特性に即し、土壤還元利用を軸とした家畜排せつ物の適正な処理を推進するため、これに必要な施設等を計画的かつ総合的に整備することにより、畜産経営に係る環境保全を確保し地域社会と調和した畜産経営の安定的な発展に資することを目的とする。

### 2. 事業の種類

- (1) 畜産経営環境保全集落群育成事業
- (2) 家畜排せつ物広域処理流通促進モデル事業

### 3. 事業の内容

- (1) 畜産経営環境保全集落群育成事業

#### 1) 事業の内容

- ① 計画策定……処理状況の調査、組織づくり等
- ② 施設等整備
  - ア. 家畜排せつ物処理施設
    - 液肥、乾燥、発酵、浄化各処理等の共同利用機械施設及び附帯施設
      - ダンプカー、バキュームカー、マニアローダー、マニアスプレッター、堆肥舎、尿溜等附帯施設
    - イ. 営農用機械施設
      - 土地還元のための耕耘、整地、栽培、収穫運搬等の共同利用施設及び附帯施設
    - ウ. 家畜飼養施設
      - 普及展示施設として誘導的な役割を果す共同畜舎又は、試験研究の結果開発が期待される共同畜舎、給餌施設、除ふん施設、秤量施設等、附帯施設
    - エ. 特認施設……知事が特に認める機械施設

#### 2) 事業実施の採択条件

- ① 地域内家畜飼養頭羽数が肥育豚換算で2,000

頭以上飼養している地域。

- ② 畜産経営に起因する環境汚染の防止を必要とする地域。
- ③ 實施期間は原則として2年間とします。
- ④ 安定的な畜産経営が継続でき又、耕種経営の家畜排せつ物利用体制が整備され生産性向上が見込まれる地域。

### (2) 家畜排せつ物広域処理流通促進モデル事業

#### 1) 事業の内容

- ① 計画策定……参加農家調査、事業設置推進、組織づくり、計画書作成等
- ② 施設等整備
  - ア. 家畜排せつ物処理施設
    - 乾燥、液状処理、製品包装等各機械施設、製品保管施設、管理舎、格納庫、モミガラ粉碎機械施設、ベルトコンベア、集出荷機械施設、附帯施設
  - イ. 特設施設……知事が特に認める機械施設

#### 2) 事業実施の採択条件

- ① 地域内の家畜飼養頭羽数が肥育豚換算で7,000頭以上飼養している地域。
- ② 畜産経営に起因する環境汚染の防止を必要とする地域。
- ③ 畜産経営が安定的に継続できる地域。
- ④ 堆肥等の流通体制が確立され、この事業の展示的拠点としての波及効果が期待されること。
- ⑤ 實施期間は原則として2年間とする。

### 4. 事業の推進指導体制

#### 1) 県の推進指導体制

- 1) 事業の総合的な推進、方策の検討及び助言指導を行う。
- 2) 事業の円滑な推進を図るために畜環指導事業で設置された地域畜環保全推進指導協議会の積極的な活用を図る。

#### 2) 地域における推進指導体制

- 市町村、農協、県の出先機関、関係団体、事業参加農家代表者等を構成員とする現地関係者協議会を開催する等により、畜産経営に係る環境保全の効率

 <p>いつもフレッシュ!!</p> <p><b>明治牛乳</b></p> <p>明治乳業</p>	<p>酪農協の牛乳!</p> <p><b>全酪牛乳</b></p>  <p>全国酪農業協同組合連合会(全酪連)</p> <p>小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38</p> <p>T E L 02293-2-2211-3</p>
--	---

的な推進とその指導に当たる。

### 5. 農事業主体の扶助対象農家等

- (1) 計画策定…市町村(農協でも可。なお、モデル事業の場合は農協連でも可)
- (2) 施設等整備…市町村、農協、農協連、農業者の団体

### 6. 助成

- (1) 畜産経営環境保全集落群育成事業

- 1) 計画策定  $\frac{1}{2}$ 以内(国  $\frac{1}{2}$ 以内)
- 2) 施設等整備  $\frac{1}{2}$ 以内(国  $\frac{1}{3}$ 以内県  $\frac{1}{6}$ 以内)
- 3) 事業主体事務費  $\frac{1}{2}$ 以内(国  $\frac{1}{2}$ 以内)

- (2) 家畜排せつ物広域処理促進モデル事業

- 1) 計画策定  $\frac{1}{2}$ 以内(国  $\frac{1}{2}$ 以内)
- 2) 施設等整備  $\frac{1}{2}$ 以内(国  $\frac{1}{2}$ 以内県  $\frac{1}{6}$ 以内)
- 3) 事業主体事務費  $\frac{1}{2}$ 以内(国  $\frac{1}{2}$ 以内)

### 7. 融資(補助残)

農業近代化資金

畜産経営環境保全施設資金

(畜産環境整備係)

100万円 請求書提出後、原則として融資は即時に実行される。融資額は申請額の半分程度である。

**印刷の御用命は**

**納期の確実な……**

**有限会社 協和プリント**

代表取締役 大友 捷美

仙台市国分町二丁目12の33

今野興業ビル2階

電話 62-7637・21-6957



自給飼料生産向上と  
水田利用再編対策のために

10立米用気密サイロ (強化プラスチック製)	Zラインミニ	飼料作物
10立米用簡易サイロ (同上)	ベコフレンド	飼料用麦
500kg用サイロ袋 1,000kg用サイロ袋 (合成繊維製)	サイロッコ	その他の
20~40kg用サイロ袋 (ビニール製)	サイロトップ	飼料作物 青刈イネ

農協・宮城県経済連

### 〈畜産試験場便り〉

## カンクーラーとバルククーラーによる生乳汚染

中西 健

### 1. この試験のねらい

集乳前の生乳の冷却装置が従来のカンクーラー(カン浸漬式冷却機をいう)からバルククーラーへと移行しあつその普及は著しい。これらの冷却装置の相違が生乳への細菌汚染に及ぼす影響について究明する目的で実施したものである。

### 2. 試験のやり方

#### 1) 試験実施時期

冷却法	カンクーラー	バルククーラー
試験期		
春季	52. 5.23~ 5.28	52. 5.30~ 6. 3
夏季	52. 7.25~ 7.30	52. 7.31~ 8. 4
秋季	52. 10.25~10.28	52.11. 8~11.18
冬季	53. 1. 9~ 1.12	53. 1.14~ 1.17

#### 2) 試料の採取

カンクーラーについては、夕搾乳後に一回。次の朝搾乳後に一回の計2回について試料採取を行った。バルククーラーについては、最初の夕搾乳から数えて春~夏では5回、秋~冬では3回それぞれ搾乳直後に試料の採取を実施した。

#### 3) 調査項目

P Lテスト、アルコールテスト、PH測定、環境温度(乳温、水温、舍内温度)、細菌数(総菌数)

### 3. 試験成績の要約

細菌数と環境温度については、表1、2で示すとおりであり、また両者の相関関係については、表3、4のとおりである。

1) 貯乳開始時における細菌数は、年平均で、カンクーラーについては、 $74.2 \pm 17.8$ 万個/ $m\ell$ 、バルククーラーについては、 $78.8 \pm 18.1$ 万個/ $m\ell$ であったが、出荷直前においては、同じく  $137.9 \pm 52.6$ 万個/ $m\ell$ 、 $120.5$

動物用薬品器具のことなら 古い伝統  
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ⑨ 73.3.0・73.3.8・73.3.9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1

02202 (2) 22.7.8~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236 (23) 99.0.9~9.9.0.0

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 20.1.8~9

± 30.4万個/m<sup>3</sup>で増加率は、前者1.9倍、後者1.5倍となった。

表1. カンクーラーにおける細菌数と環境温度

採取区分 試験区分 時期	細菌数(万個/m <sup>3</sup> )	乳温(°C)		水温(°C)		舍内温度(°C)		
		開始時(S)	終了時(F)	S	F	S	F	S
春季	56.4	90.6	22.5	9.2	10.8	9.5	20.5	17.0
夏季	90.5	203.0	29.2	8.8	12.8	9.3	30.3	28.2
秋季	73.9	148.0	27.0	11.5	9.8	12.2	18.5	15.8
冬季	75.1	109.9	26.7	10.0	10.7	10.2	9.8	7.8

(注) データは、3回復の平均値

表2. バルククーラーにおける細菌数と環境温度

採取区分 試験区分 時期	細菌数(万個/m <sup>3</sup> )	乳温(°C)		舍内温度(°C)		
		S	F	S	F	S
春季	65.3	96.3	21.8	5.0	25.8	27.8
夏季	98.2	110.6	32.0	5.0	34.3	31.5
秋季	68.0	90.6	22.3	18.8	20.5	16.0
冬季	98.4	152.1	27.5	14.0	6.3	7.0

(注) データは、2回復の平均値

#### 細菌数と環境温度との相関関係

表3. カンクーラーにおける細菌数と環境温度

	乳温	水温	舍内温度
細菌数	0.74** -0.20	0.25 -0.12	0.32 0.59*
乳温	— — 0.93	0.30 *** -0.44	0.36 — -0.44
水温	— —	— —	0.46 -0.23

表4. バルククーラー

	乳温	舍内温度
細菌数	0.65* 0.35	-0.14 -0.52
乳温	— —	0.20 -0.91**

注) 上段: 貯乳開始時 } における関係  
下段: 出荷直前

2) 細菌数と乳温との関係においては、カンクーラー、バルククーラーとともに、貯乳開始時点では、乳温が高い程細菌数も増加する関係が認められた。今回、調査に使用した各装置の冷却能力は、カンクーラーで約0.2°C/1分、バルククーラーで約0.6°C/分となった。

#### 4 おわりに

今回の調査は、昭和49年度以来、原料牛乳の品質向上に関する試験という課題で取り組んできた一連のものである。機械搾りにおける細菌汚染、特に敷ワラの有無と乳房等の清拭との関係について調査し、次に、ミルカーの取扱いと牛乳汚染ということで、ティートカップを中心とした洗浄殺菌、その衛生的な取扱い方について呼びかけてきた。これらの内容をよく吟味していただければ、牛乳生産者は、搾乳したときから出荷するまで牛乳を細菌汚染から守らねばならないことを再確認していただけるものと考えます。乳質改善の問題は古きにして常に新しい問題であることとも、今一度、お考え下されば幸いです。  
(研究第二部畜産化学科技師)

#### 新刊図書案内

- 草地型酪農経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,300円 ￥200円)
- 耕地型酪農経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,100円 ￥200円)
- 流通飼料依存型酪農経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,500円 ￥200円)
- 乳用去勢牛育成・育成経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,000円 ￥200円)
- 乳用去勢牛肥育経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,000円 ￥200円)
- 肉専用牛繁殖経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,000円 ￥200円)
- 肉専用牛肥育経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,300円 ￥200円)
- 養豚肥育専門経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,300円 ￥200円)
- 養豚繁殖専門経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,000円 ￥200円)
- 養豚一貫経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,500円 ￥200円)
- 養鶏採卵専門経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,000円 ￥160円)
- 養鶏育成採卵一貫経営の計画・設計指標(別冊とも定価1,600円 ￥200円)

お申込みは、宮城畜産会へ

## 昭和53年度畜産会

## 事業計画の概要

本年度事業計画につきましては、去る6月2日開催されました第28回定期総会において承認されました、その概要を紹介致します。

## 1. 畜産コンサルタント事業

本事業は、ご承知のとおり高度の技術を基礎とした生産性の高い畜産経営の健全な発展を助長するため、農業者の要請に基き畜産コンサルタント団により畜産経営の診断分析に当り、経営の安定合理化に資する目的としておりますが、本年度の実施予定事例数は次の通りです。

## 2. 一般事業

## (1) 畜産経営土地利用技術普及浸透事業

耕、草地(混牧林、野草地利用を含む)を基盤とする畜産経営のなかから土地利用方式、土地利用技術の先進的事例を選定し、土地利用畜産の普及浸透を図る。

## (2) 食肉供給予測調査事業

肉畜需給の動向に即応した安定的計画生産および出荷を図るため、次の事業を実施します。

- 1) 肉豚計画生産出荷動向調査(調査農家500戸)
- 2) 食肉需給安定推進協議会の開催
- 3) 肉用牛種付動向調査
- 4) 肉畜出荷動向協議会の開催
- 5) 繁殖豚多頭飼育動向調査(調査農家60戸)

## (3) 畜産経営改善資金借受け農家の経営指導

畜産経営改善資金借受け農家35戸に対し、指導並びに診断分析に当るとともに、県内4ヶ所において講習会を開催します。

## (4) 第18回仙台牛共進会の開催

肉用牛の改良増殖と肥育技術の向上を図るために0月仙台市において仙台牛共進会を開催します。

その他、県、東北農政局の委託を受け、畜産経営環境整備調査事業、草地等効率利用促進調査事業を実施しますが、指導事業に関連した講習会、研修会、調査事業を附隨させ事業を進めて参りますので皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

## 角田市の柳田さん

## “日本一賞”を受賞

## 宮城県畜産会

牧草増産技術渗透事業の一環として実施している第16回全国草地コンクールに、本県より既耕地牧草地の部に出品した角田市佐倉の柳田さんが見事日本一賞の栄冠を獲得しました。

この事業は、中央畜産会が主催し集約牧野並びに既耕地の2部門に分け、収量、草地の肥培管理、草の利用状況並びに経営内容等について、書類と現地の審査によってそれぞれ決定されますが、今回は全国より48点(既耕地、集約牧野各24点)が現地審査の対象となり、その中から選ばれたもので、去る7月10日東京都で開催された表彰式で、農林水産大臣賞を授与されました。

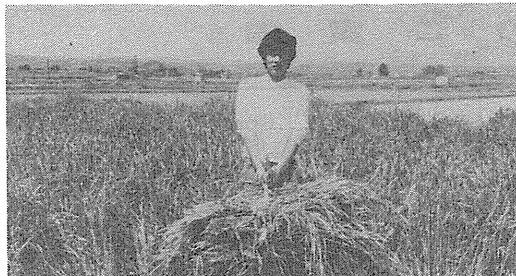
柳田さんの経営は、両親と長男の3人の労力で、水田1.6ha、転換畑1.2ha、畑0.8ha、採草地3.0ha(河川敷)の耕地と乳牛43頭(経産23、未経産11、育成牛9)をけい養する水田との複合経営です。

柳田さんの酪農は、昭和29年に始まり遂次規模を拡大、昭和44年成牛20頭、育成牛15頭を目標として総合資金400万を借り入れ畜舎の新設、諸施設を整備しその体制を確立ましたが、長男の就農後、米の生産調整による転作水田並びに河川敷地の借り入れが可能となつたので、飼料基盤に余裕が出たのを機に、昭和50年総合資金1,300万を継続借り入れ、畜舎の増築、パイプラインミルカー、バーンクリーナー等を導入し、経産牛30頭、育成牛10頭、年間出荷乳量200トンを目標(昭和55年)として現在に至っております。

規模拡大に当って、労働生産性をあげるため少数精銳主義とし、導入に当っては乳牛の資質、能力の優れたものの飼養に努めています。

昭和52年度の生産乳量は182.7トンで、経産牛年間1頭当たり5,769kg、搾乳牛で6,473kgと高く、繁殖成績も1頭平均種付回数1.5回、分娩間隔12.3ヶ月と良い成績で、飼養管理には細心の注意をはらい、繁殖成績の向上

事業区分 畜種別	個別診断指導事業			特別診断 指導事業	高度技術導入等部門診 断指導事業	新畜産団地診断事業			共同利用施 設診断事業	中核農家群 育成事業 (新規指定)	合計
	新規	アフター	計			継続	新規	計			
酪農	17	8	25	1	10	1	1	2		5	43
肉用牛	20	10	30	1	16	1	1	2	2	5	56
養豚	18	8	26		10	1	1	2		5	43
養鶏	5	4	9		4						13
計	60	30	90	2	40	3	3	6	2	15	155



に努めており、飼料の給与は粗飼料主体とし、購入飼料の節減に努力している。また、所得率も37.4%，経産牛1頭当たり210千円強と高く、安定した経営です。

今回出品した草地は、水田転換牧草地0.9haのうち1.5haで、48年まで水稻を作付していた水田で、49年春にソルゴーを作付、49年9月普通の耕起法で牧草を播種した。

収量はha当たり13.5トンと高く、刈取回数は5回で全量サイレージとして利用しています。

出品草地の概要は下表のとおりですが、以前は堆肥、石灰、溶磷の投入が少なかったため、毎年反当たり石灰100kg、溶磷50kg、そして更新時には堆肥10~15トン投入し、土作りに努力しています。

#### (1) 土地条件

地質	土性	表土の厚さ(cm)	PH(H <sub>2</sub> O/KCl)	磷酸吸収係数
沖積層	砂質土	100	6.0 5.0	1,000
標高(m)	傾斜度・方位	耕転の難易	乾湿の状況	
28	0	易	乾	

#### (2) 播種の概要

面積	播種年月日	草種名	播種量
15a	49.9.15	オチャード	3kg
		Mイタリアン	3kg
		ペレニアル	1.5kg
		Wクローバー	0.75kg

#### (3) 肥培管理(造成時)

施肥年月日	肥料の種類	成分比	ha当たり施肥量	ha当たりの成分量					
				N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	CaO	MgO	その他
49.9.7	堆肥	0.45-0.23-0.48	100,000kg	450kg	230kg	480kg			
9.8.	炭カル	5.8	1,000			530			
〃	溶磷	20-1.5	500		100				75
9.14	草地化成	8-10-12	400	32	40	48			
合計				482	370	528	530	75	

今後の計画は、現在の飼料生産基盤、施設等を考慮し経産牛35頭を目指とし、乳牛の資質を更に改善し、高能力牛の飼養に努めると同時に、熟烟、転換烟については、牧草、デントコーン、家畜カブの輪作体系のもとに、適切な肥培管理によりha80トンの生産量を維持し、自給飼料の高度存用利用により安定した経営を目指してお

ります。

幸い研究熱心で酪農に情熱を傾注している良い後継者がおりますので、水田複合経営として今後の発展が大いに期待されます。

#### 畜産団体紹介 (20)

団体名 宮城県ホルスタイン改良同志会

代表者 会長 鈴木 正太郎

所在地 仙台市上杉一丁目16番の3号

電話番号 0222-21-6277

会員数 163名

- 主な事業
- 供用種牡牛及び種牝牛の調査研究に関する事業
  - 生産子牛の調査研究並びにその紹介及び交流に関する事業
  - 研究会及び共進会の開催に関する事業
  - 講習会及び講話会の開催に関する事業
  - 先進地の視察及び優良牛の共同購入に関する事業
  - 乳牛の改良並びに能力検定に関する事業
  - その他会員の必要なる事項

#### 畜産物の市況

種目	規格	単位	価格	摘要
卵	A級	1 kg	228	卸売価格 6月平均
ブロイラー	A級	1体 1kg	239	"
豚肉	上枝肉 1kg	770	"	
	中	698	"	
和牛メス	上	"	1,981	"
牛	ヌキ	上	1,947	"
	ヌキ	中	1,502	"
肉	乳牛メス	中	1,240	"
	ヌキ	中	1,190	"
和牛子牛		1頭	264,098	7月10日小牛田市場
子豚		"	21,063	7月15日 "

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格……県経済連調べ

和牛子牛、子豚……県畜連調べ

印刷ならどんなことでも

(株) 東北プリント

仙台市立町24-24 電話(022)25-6466代

## 催しもののご案内

催しの名称	主催	期日	場所	内容
東北六県、北海道連合肉牛共進会	山形県家畜商業組合連合会	53年9月5日 ～8日	天童市、山形県 中央家畜市場	出品頭数 200頭 (本県出品頭数 25頭)
第2回東北地区ホルスタイン共進会	東北地区ホルスタイン改良協議会	53年9月7日 ～8日	古川家畜市場	出品頭数 200頭
第5回宮城県種豚共進会	日本種豚登録協会県支部	53年9月13日～14日	小牛田家畜市場	出品頭数 80頭
第1回東北六県種豚共進会	東北地域指定種豚場連絡協議会	53年9月21日～22日	小牛田家畜市場	出品頭数 66頭 (本県出品頭数 10頭)
第18回仙台牛共進会	宮城県畜産会	53年10月18日～20日	仙台市、県中央 家畜市場	出品頭数 150頭 (黒毛和種去勢80頭、黒毛和種雌30頭、褐毛和種去勢10頭、ホルスタイン種去勢30頭)
宮城県肉用種牛共進会	県畜産農協連	53年10月30日～31日	小牛田家畜市場	出品頭数 150頭

**ユーザーの皆様と  
新発売 畜産の発展に努力します**

# 金鳥スミスリン乳剤

[ピレスロイド系新殺虫剤] (医薬部外品)

### 成 分

スミスリン(フェノトリン).....10%  
乳化剤、精製水.....90%

### 適用害虫

ゴキブリ、イエダニ、ハエ、カ、  
ノミ、ナンキンムシ

○各種殺虫剤と毒性を比較しますと次の通りです。

剤名	経口毒性	経皮毒性
スミスリン	5,000以上	5,000以上
ビナミン	410	2,500以上
スマチオン	780	2,730
クロルデニ	290	480
D D V P	70	200
バイテックス	98	170
ダイアジノン	53	115

マウスLD50mg/kg

○吸入毒性、刺戟作用、催奇性等のテスト結果は  
全く異常は認められません。



(株) 東和薬品

TEL(代表) 02202(2)-3727

登米郡迫町佐沼上舟丁23